

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100101
法人名	社会福祉法人 以和貴会
事業所名	老人グループホーム けやき
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町細山田5902番地3 (電話) 0994-62-4060
自己評価作成日	平成22年4月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号
訪問調査日	平成22年5月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①グループホームけやきの隣には、牧場があり自然な環境に恵まれ、のんびりとした雰囲気の中で生活できる。
 ②利用者一人ひとりの能力を尊重した自立支援を行い、家庭的な雰囲気の中でその方のペースで、その方らしい生活ができる。
 ③花見やレクリエーション大会、夏祭りやクリスマス会、みかん狩り等、季節ごとの行事を計画し、出来るだけ外出の機会を多くもてるよう支援している。
 ④利用者が馴染みの関係を継続できるよう、知人や地域の方々との交流を支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

老人グループホームけやきは自然に恵まれ隣りには牧場もあり空気もきれいで、のんびりとした気分で生活できる環境下である。

夜間は、夜勤者と宿直者の二人体制の勤務になっており、利用者はもとより家族・職員も安心感を持っている。

隣接する特別老人ホームのデイサービスを利用している利用者の友人・家族との面会の支援をして、馴染みの人との関係継続の支援をしている。

面会室・ホールに大型空気清浄機を備え付け、昨年は新型インフルエンザ対策を行い、感染予防・まん延予防に取り組み発症を予防できている。

事業所は施設見学等の受け入れ、地域の人々に対して認知症の理解への努力もしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を日常的に確認できる所に掲示し、スタッフ全員がその理念に沿ったケアを提供できるよう日々努力している。	理念をホールの中央に掲げ、利用者にゆったりと過ごして頂き、日常の散歩や買い物等で地域の方々とふれあいを大切に心がけ、理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見等の行事には、積極的に参加するとともに、施設の夏祭り等の行事にも地域の人々を招待し、多くの人々と触れあいの場をもうけ交流を図っている。	法人で、地域の小組合に加入し、地域清掃や地域の花見に参加して、地域の方々と交流に努めている。法人で開催する夏祭りに地域の方々を招待し、利用者との触れ合いの機会になっている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の高齢者が生活するために必要な情報を提供したり、施設見学等も随時受け入れ認知症の高齢者がその有する能力を活用して生活できることが理解できるよう取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の日常の様子や行事等への取り組みを写真等を用いて報告し、自己評価の説明や外部評価の結果についても公表、事業所の改善課題を話し合う等、より良いサービスの質の向上に繋がっている。	市職員・包括支援センター職員のどちらかが必ず参加して、年6回開催され、会議の内容も議事録に記録されている。事業所の運営報告・研修の報告・外部評価結果報告等を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には市職員も参加し意見や要望等を交換、利用者の書類等の代行やホーム便り等は、できるだけ郵送せず直接行政機関へ持参する等、日頃から連携が保てるよう努めている。	鹿屋市役所や串良総合支所へ直接出向き、相談・報告を行っている。認知症セミナーや市の夏祭りなど、グループホーム協議会の一員として協力し、連携に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	処遇会議等でスタッフ全員が、身体拘束による弊害等をよく理解し、正しい知識を共有しており、利用者に対して身体拘束をすることがないように、個々のケアについても十分に検討し取り組んでいる。	事業所の身体拘束についてのマニュアルは、作成しているが、研修等で身体拘束の理念・方針を正しく理解しているとは言い難い。日中は、玄関の施錠をしないケアに取り組んでいる。	事業所のマニュアルに添って研修を行い、身体拘束の理念・方針や具体的な行為等を正しく理解してケアに取り組むことを望みます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法における虐待の定義や内容を、処遇会議等で十分検討し、利用者に対する虐待が起こらないよう取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	県社協や地域包括支援センター等が主催する研修等に参加するとともに、処遇会議等で権利擁護や成年後見制度に対する勉強会を行っている。又、事業所にリーガルサポートの案内を掲示し随時相談に応じている。		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者や家族に内容を分かりやすく丁寧に説明し、不安や疑問に思うことがないかスタッフから尋ねる等、十分に話し合い、きちんと理解や納得が得られるよう努力している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から利用者と十分コミュニケーションを図るよう心がけ、随時利用者の意見を聴き改善すべき事項は直ぐに対応、家族も面会やサービス担当者会議、運営推進会議等において気軽に意見を話せるよう努めている。	5月16日に運動会の後に家族会を開催し、話を聞く機会を作っている。また、面会時・サービス担当者会議等に意見を聞いている。利用者・家族の要望は、職員間で共有して話し合い運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	処遇会議等で出された意見や提案等は代表者に報告し、管理者とともに改善に向けて検討したり、職員と個別に話し合う機会を持つ等、施設や職員のサービスの質の向上を図っている。	毎月処遇会議にて、職員の意見をもらい、話し合う機会を設けている。話し合った内容は、代表者に報告し、改善に向けて検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフ個々の能力に応じてスキルアップが図れるよう、段階的に必要な研修に参加し自己啓発できる環境を整えている。又、必要な資格取得に対しては受講費用を事業所は負担している。		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時の施設内の新任職員研修や県社会福祉研修センター主催の段層別研修会、又、グループホーム協議会等の各種研修にスタッフが交代で参加するようにし、自己研鑽を深め資質の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区のグループホーム連絡協議会に加入し、研修会や勉強会、セミナー等に参加したり、他施設を訪問し情報交換を行い職員同士の交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴や趣味・嗜好、本人が大事にしていることや大事に思っていること等、日常生活について十分に聴き、在宅に近い状況で生活していただけるよう、本人や家族が不安を感じないような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	信頼関係を築く大切な時であるため、スタッフから声をかけるように努め、何でも相談していただけるような雰囲気を作り、家族の表情や仕草にも十分注意し真摯に受け止めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が、どのようなことで困っており、何を求めているかを把握、必要に応じ他の介護保険サービスや医療、保健サービス等も説明、居宅介護支援事業所等の紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの能力を生かし、可能な限り料理や洗濯・掃除等を一緒に行いながら、不足部分は職員が補い、職員も利用者にも学ぶ姿勢で協力し合い、家族同様の関係を築いている。		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは面会や電話等で随時情報交換を行い、利用者が寂しさや不安・孤立を感じることはないよう、コミュニケーションに努めながら家族とスタッフ全員で協力し合い本人を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	特養やデイサービスを利用されている家族や友人等との面会の支援、在宅時に利用していた商店や温泉等に出かけたり、ボランティアに来ていただく等、継続できるよう努めている。	利用者が地域住民との関係が継続できるように、家族の協力をもらい、自宅への訪問・墓参り・美容院などに出かけている。同法人のデイサービスを利用している友人との面会の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士が安心して過ごせるようホール内での座る位置を考え、孤立しがちな利用者に対してはスタッフが間に入り他の利用者と交流が図れるよう誘導しながら支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後も関わりを必要とする利用者や家族には、来所や電話での相談等に応じ支援、少しでも安心していただけるよう努める等、契約終了後の関係も大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の生活歴や職歴・趣味・嗜好等を把握し、個々の残されている能力を活用しながら、その人のペースに合った、本人の望む生活が送れるよう支援している。	普段の会話の中から要望を拾い上げたり、職員の気付きから意向の把握に努めている。困難な場合は、家族の情報から把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅での日常生活状況等を本人や家族から聴くとともに、本人の有する能力を把握し、居宅介護支援事業所等と情報交換を行い、サービス利用に至った経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ全員が個々の生活のペース・ADL状況等を把握し、心身の変化についても随時ミーティングや処遇会議等で報告し情報を共有、常に現在の状態を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族からアセスメントを実施し、解決すべき課題を明らかにした上で、希望や要望を聴きながらスタッフとともに介護計画を作成している。又、状態の変化に応じ介護計画の見直しを行い作成している。	毎月の処遇会議にて職員と一緒にモニタリングを行い、3ヶ月毎に見直しを行っている。家族からは担当者会議時に、主治医からは病院受診時等に意見や指示を貰い、それぞれの意見が反映した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録には、毎日の生活状況や変化等を記録し、変化等があった場合には、その都度ミーティングや職員連絡ノート等で全スタッフが情報を共有できるようにし、介護の実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	絶えず変化する利用者や家族の意向に適切に対応できるよう、小規模施設の特徴を生かし、直ぐにスタッフ全員で話し合いの場を持ち臨機応変な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	夏祭りや敬老祝賀会等の行事には家族や民生委員・ボランティア・行政機関等を招待し、運営推進会議には地域の消防団長を委員に加え、地域の機関との関わりに努め支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の本人かかりつけ医療機関や、ない場合には本人や家族が希望する医療機関と協力関係を築き、安心して医療が受けられるよう支援している。	利用者や家族の希望するかかりつけ医になっている。受診時は、業務日誌・ケース記録・病院受診記録に記入して、家族への報告・職員間の情報の共有が徹底している。	

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	一人ひとりの状態に変化が生じた場合は、かかりつけ医療機関や併設特養の看護師等と連携を取り相談し指示や助言を受け対応する等、医師や看護師と協力しながら個々の適切な健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	本人に関する情報や介護内容等を医療機関へ提供し、スムーズに医療と介護が受けられるよう支援している。又、定期的に医療機関のソーシャルワーカーと連絡を取りながら本人の状態を把握、早期退院に向けて連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人や家族に対して、重度化した場合の施設の方針を説明し、状態が変化した場合は随時話し合いながら、本人や家族が希望する適切なサービスが受けられるよう支援している。終末期に対しては、医療機関での治療を優先している。	利用者の入所時に、家族へ医療処置が必要になった時は、医療機関での治療を優先することを説明している。現在、定期的に輸血を必要としている利用者については、かかりつけ医と家族との連携をとり、事業所での生活支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	特養の看護師による応急手当等の研修を行ったり、定期的に救命講習会等に参加し急変や事故発生時に備え知識を身につけるよう努力している。		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施しており、又、法人で地域小組合に加入し、利用者の緊急時に対する地域の協力体制も整っている。	今年3月にスプリンクラーの設置をした。昨年度までは年2回の消防避難訓練を実施していたが、今年度から自主訓練も加えて毎月実施する計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシーの保護については、特に細心の注意を払い、全スタッフが思いやりを持ち、相手の立場に立って接するよう努力している。	外部研修での認知症ケアの研修報告にとどまり、プライバシーの確保のマニュアルの作成・研修ができていない。記録物は事務所で保管している。	事業所のプライバシーに関するマニュアルを作成して、人格の尊重・羞恥心への配慮など具体的な対応について研修をすることを望みます。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活において、利用者一人ひとりに合ったわかりやすい説明を行い、選択肢をできるだけ多くし、本人が自己決定しやすいように工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の状態を把握し、一人ひとりのペースに合わせてサービスを提供、本人の希望や体調等を勘案しながら希望に沿った支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類等本人の好みを尊重し、好みの物を一緒に選び、又、希望があれば理容ボランティアを利用でき本人の好みの髪型にしてもらう等の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや希望を調理に活かし献立を作ったり、嫌いな物やアレルギー等があれば代替品で対応している。又、可能な限り準備や調理・後片付け等を一緒に行うよう努めている。	献立は同法人の管理栄養士が作成しているが、利用者の希望の献立を付け加えたり、日曜日の夕食には、利用者の希望の献立を作っている。職員も一緒に食卓を囲み、家庭的な雰囲気ですべてしている。	

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特養栄養士が作成した栄養の取れた献立を中心に、個々の状態に合わせた水分摂取量の確保に努めている。食事や水分摂取が困難な利用者については必要に応じゼリー等で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	残存機能を生かし、一人ひとりの状態に合わせ声かけや誘導・一部介助を行っている。又、スタッフは口腔内を観察し歯周病などのチェックを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のチェック表を作成し、一人ひとりの排泄の間隔を把握した上で、定期的に声かけやトイレへの誘導を行い支援している。	排泄チェック表を作成し時間を記入している。声かけのタイミングの把握・トイレ誘導のタイミングの把握であり、ケアプランでも転倒防止の目的になっている方もいる。	利用者個々の排泄のパターンを知ることが大切ですが、尿意を伝えられるように・失敗ないように・オムツ、リハビリパンツの使用を減らす、など一人ひとりの力量にあった目標を立て排泄の自立に向けた支援を期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事やおやつには繊維物を多く取り入れたり、水分量のチェックを行い適切な水分補給ができるよう声かけや工夫を行っている。又、レクリエーションの中に適度な運動や散歩等を取り入れて支援している。		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や入浴時間に縛られず、又、無理に入浴を勧めたりせず、本人の意思で決定してもらい入浴している。希望があれば、いつでも入浴でき楽しんでもらえるよう支援している。	入浴日は、月・水・金に予定されているが、毎日の入浴も可能である。入浴を拒む利用者には連続して入浴できない日がないように、声かけの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクリエーションや屋外散歩等の適度な運動を取り入れ夜間の安眠に繋がるよう援助し、就寝時間は決めず個々の生活リズムに合わせて睡眠を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明書やお薬手帳等を整理し、目的・用法・副作用等についてスタッフは理解しており、いつでも確認できるようにしている。又、病状の変化についても注意し観察している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の整理や食事の準備・後片付け等、一人ひとりの生活歴や有する能力を引き出すことができる声かけを行い、役割や楽しみ・生きがいを持って生活していけるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の一人ひとりの体調や希望、天候等に応じ屋外散歩や外食ショッピング等を支援している。又、家族等にも声をかけ協力をいただき、家族や地域の人々とともに支援できるよう努めている。	利用者一人ひとりの希望や天候に応じて散歩やテラスでの日光浴・外気浴に心がけている。個別の外出希望時には、家族の協力をもらい支援をしている。隣接している特別老人ホームでの催し物の見学に出かけ気分転換のための外出支援をしている。	

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外食や買い物の際には、本人の希望する物を本人のお金で購入できるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が希望する時には、いつでも電話が利用できるよう援助し、手紙に関してもプライバシーに配慮しながら、本人が希望した際は代読や代筆等を行い支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関の周りには季節の花々を植え、家庭的な雰囲気を作っている。又、浴室は家庭用のユニットバスを使用し、ホールにはソファや仏壇を置く等、家庭に近い環境作りに努め利用者がそれぞれ自由に寛げるような雰囲気を工夫している。</p>	<p>ホールのテーブルや椅子が歩行の妨げにならないように配置している。テレビを囲むようにソファを配置して利用者の気の合う同士が座り、レクリエーションや体操を楽しんでいる。大きな空気清浄機を置き、インフルエンザ対策になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内にあるソファでは、気の合った利用者同士が傍に座れ自由でゆったりと過ごしていただけるような工夫をしたり、家庭的な雰囲気を醸し出せるよう努力している。</p>		

鹿児島県 グループホーム けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅で使用していた日用品や衣類・布団等を自由に持ち込まれ、本人に馴染みのある物の中で安心して生活していただけよう工夫してしている。	各居室ごとに洗面所が備え付けられている。テーブルと椅子が備え付けられており、家族の面会時に一緒に食事をしたり、ゆっくり過ごせられるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力を活かせるよう、トイレや浴室・廊下等には手すりを取り付け自立支援に役立っている。又、浴室やトイレ等には表札を設置し、各居室の入り口にはその方の名前を書いた表札を設置する等工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 老人グループホームけやき

作成日 22年 6月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	プライバシー確保のマニュアルの作成・研修ができていない。	事業所のプライバシーに関するマニュアルを作成し研修を行う。	①マニュアルを作成する。 ②処遇会議等で定期的に職員研修を行い、人格の尊重・羞恥心への配慮等の対応について学び実践していく。	3ヶ月
2	6	身体拘束の理念や方針を正しく理解していない。	職員全員が身体拘束による弊害等を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいく。	事業所内でマニュアルに沿った、身体拘束についての職員研修を行う。	3ヶ月
3	43	現在の排泄チェック表では、利用者個々の排泄パターンの把握ができない。	利用者個々の排泄パターンを把握し、排泄の自立に向けた支援を行っていく。	①個々の排泄パターンが把握できるような、チェック表を作成する。 ②状態に応じ1人ずつ、昼間のみハビリパンツから綿パンツ、失禁の回数が減っていく等の援助を行っていく。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。
「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するもの全てに○印)	
1	サービス評価の事前協議	<input type="radio"/>	① 運営者，管理者，職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者へのサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し，協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに，どのように評価機関を選択したかについて，報告した
			⑤ その他（ ）
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で挙げた目標の達成状況について，職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い，意思統一を図った
			⑤ その他（ ）
3	外部評価（訪問調査当日）	<input type="radio"/>	① 普段の現場の具体を見てもらったり，ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて，評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から，事業所が努力・工夫しているところを確認したり，次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④ その他（ ）
4	評価結果（自己評価，外部評価）の公開	<input type="radio"/>	① 運営者，職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し，その内容について話し合った
			③ 市町村へ評価結果を提出し，現場の状況を話し合った
			④ 運営推進会議で評価結果を報告し，その内容について話し合った
			⑤ その他（ ）
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けて話し合い，「目標達成プラン」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成プラン」を利用者，利用者家族や運営推進会議へ説明し，協力やモニター依頼した（する）
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成プラン」を市町村へ説明し，提出した（する）
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成プラン」に則り，目標を目指して取り組んだ（取り組む）
			⑤ その他（ ）